

火元建物周辺の建物構造と 延焼状況等について

平成29年2月24日
消防研究センター

火元周辺の建物の状況(別図①)

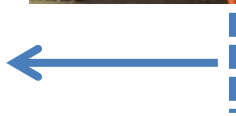


火元の南側の通路

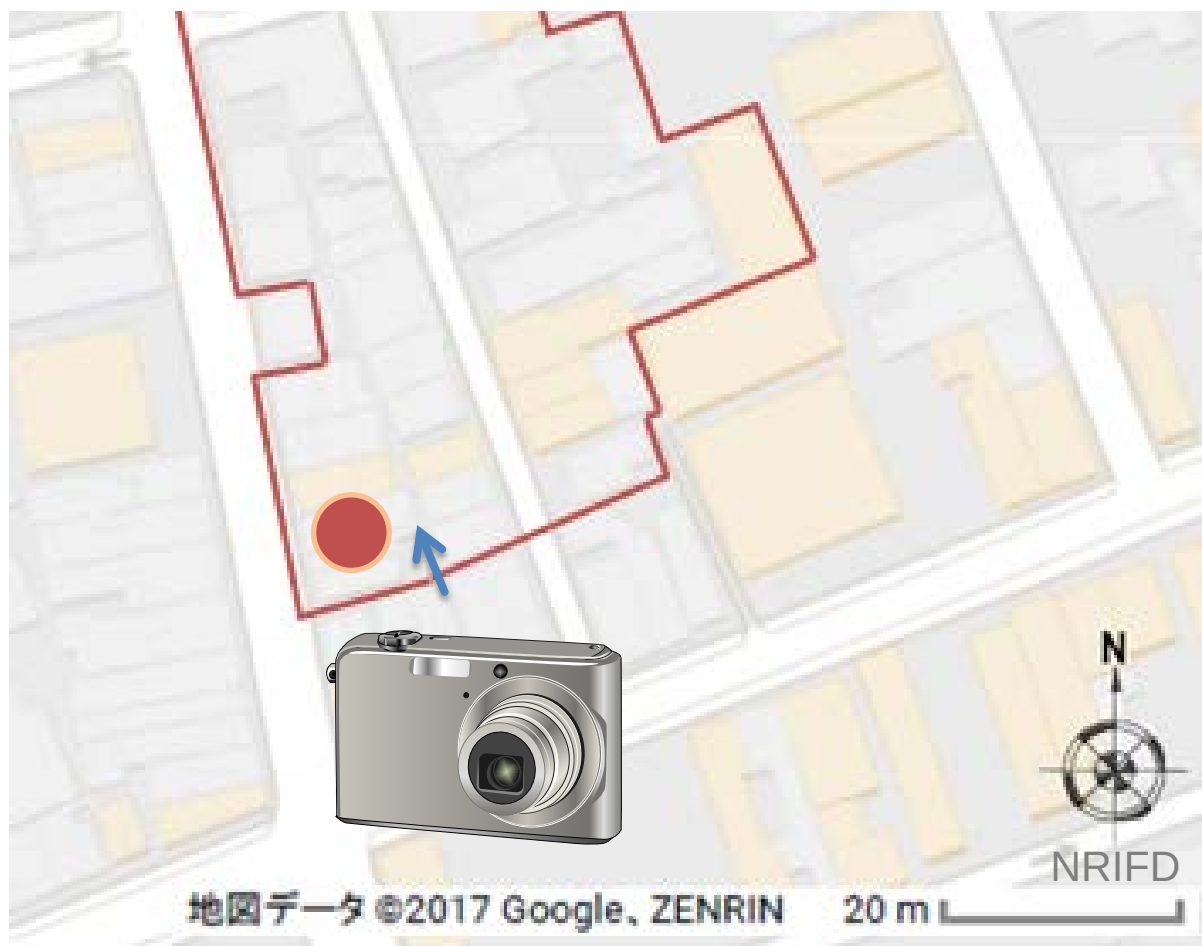




2/17撮影。焼損建物は撤去の状態



火元裏側の通路



火元建物の背面

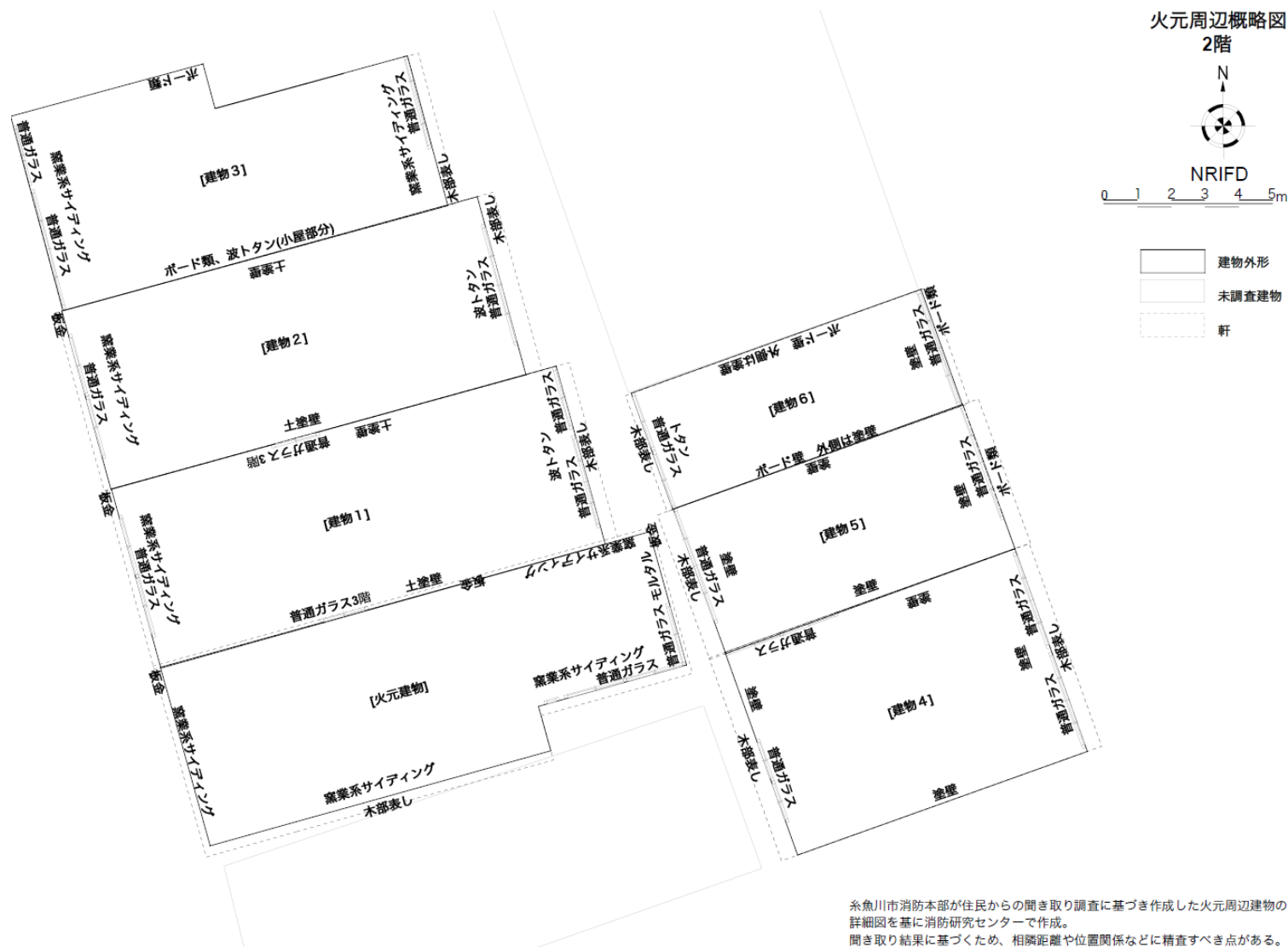
- 基礎間は約1.1m
- コンクリート舗装の直線状の通路



火元周辺建物の概略図(1階)

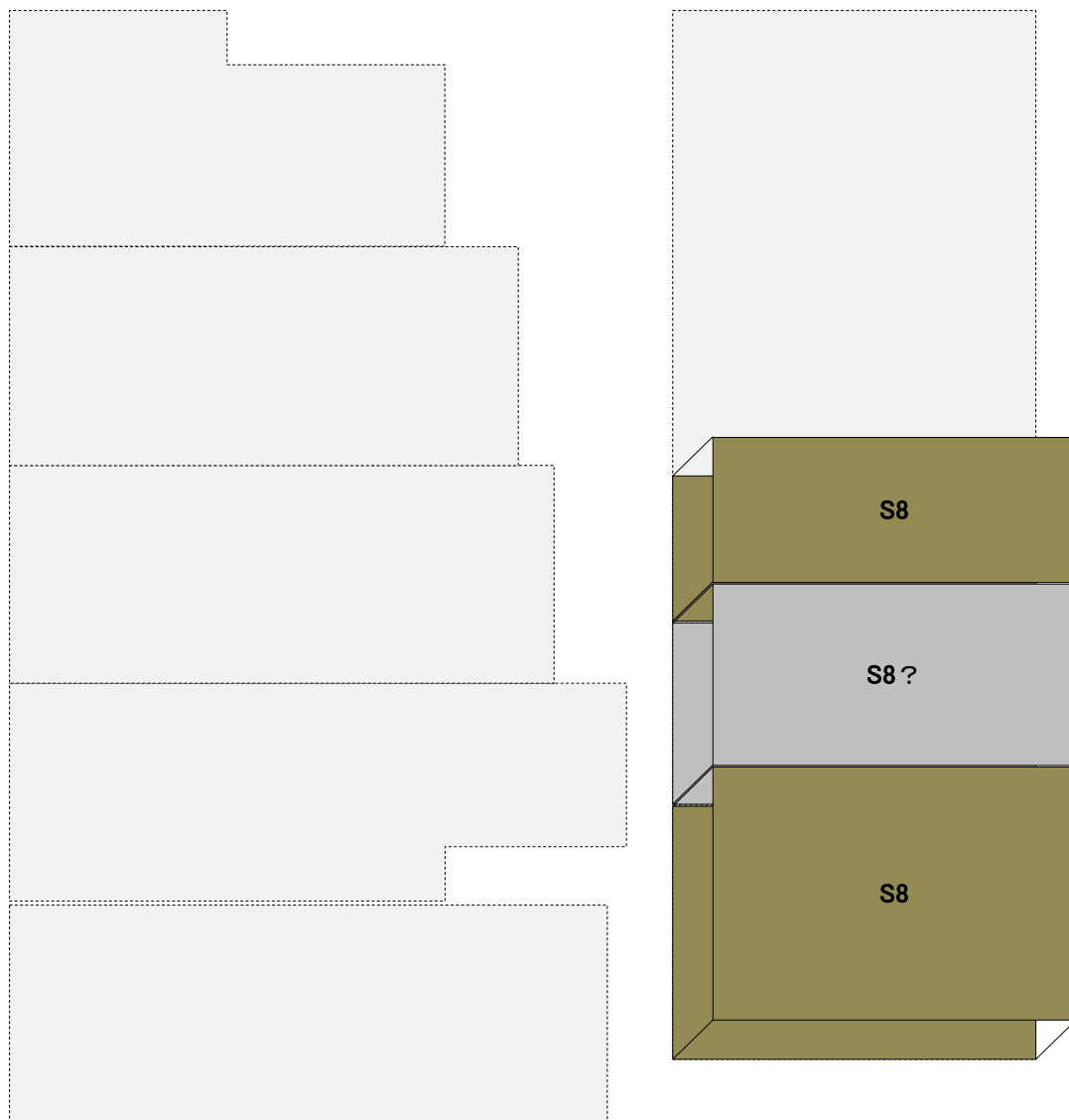
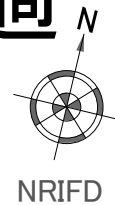


火元周辺建物の概略図(2階)



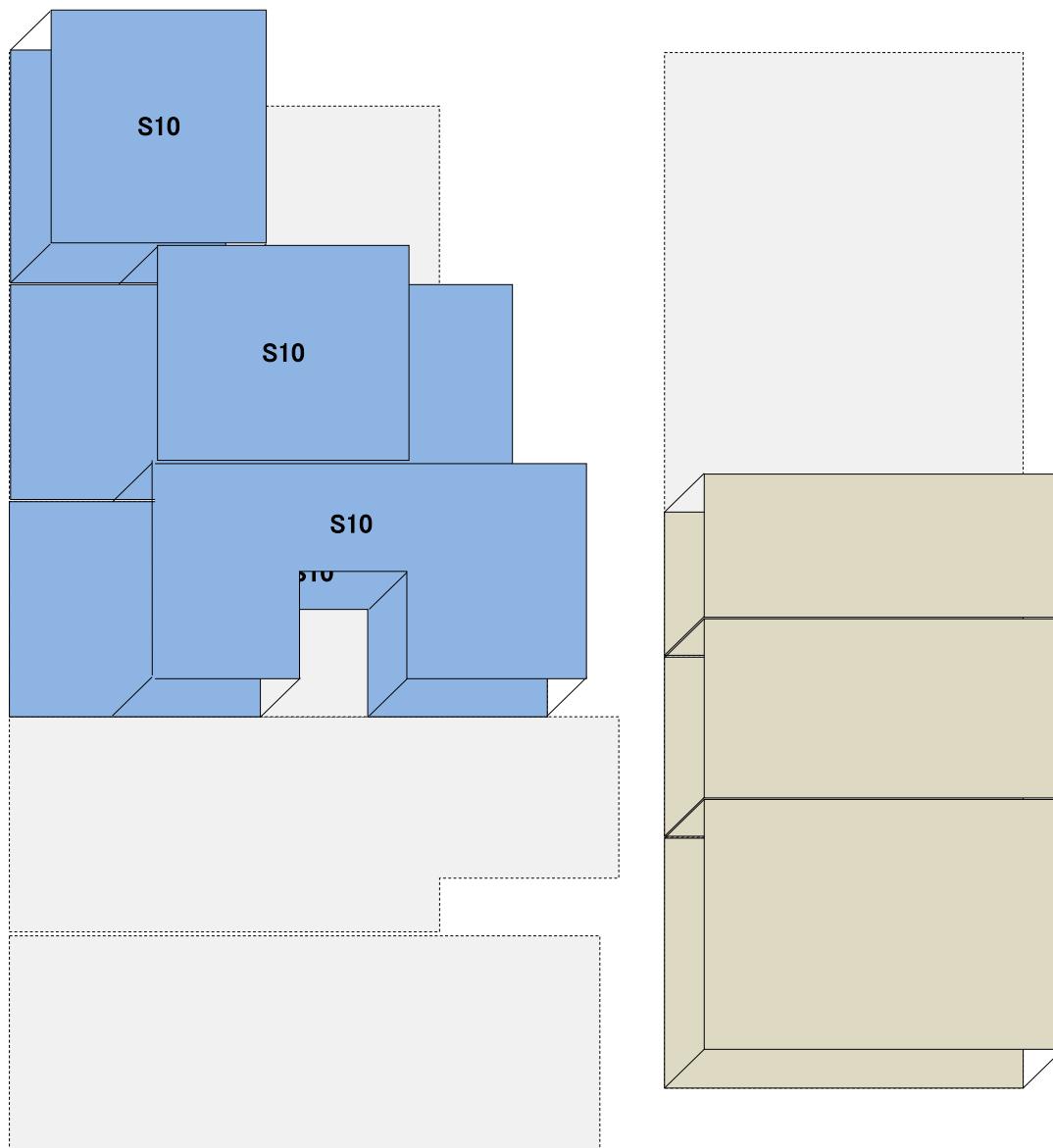
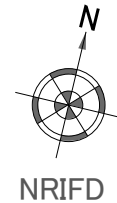
昭和8年

火元周辺の増築経過



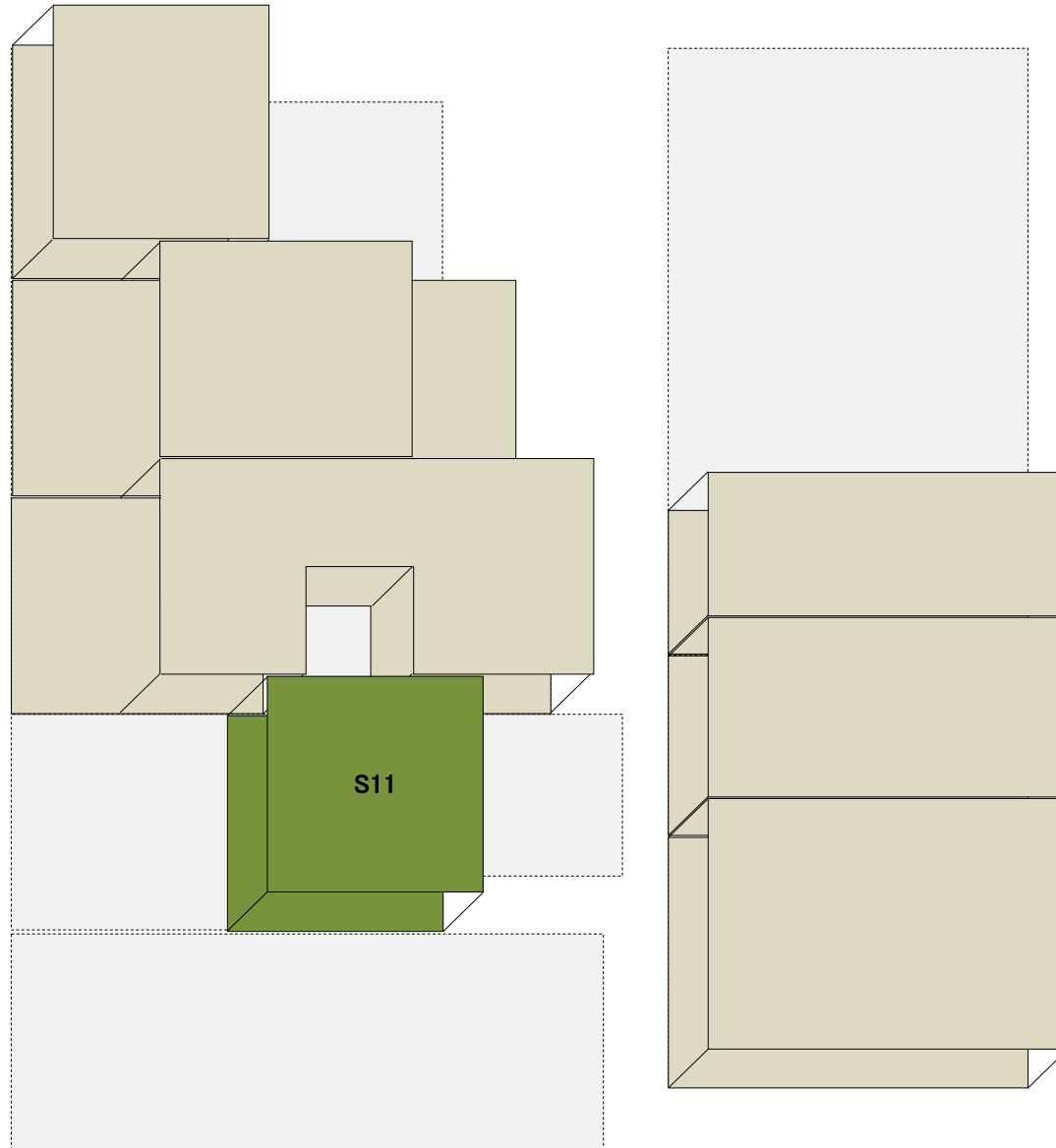
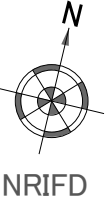
昭和10年

火元周辺の増築経過



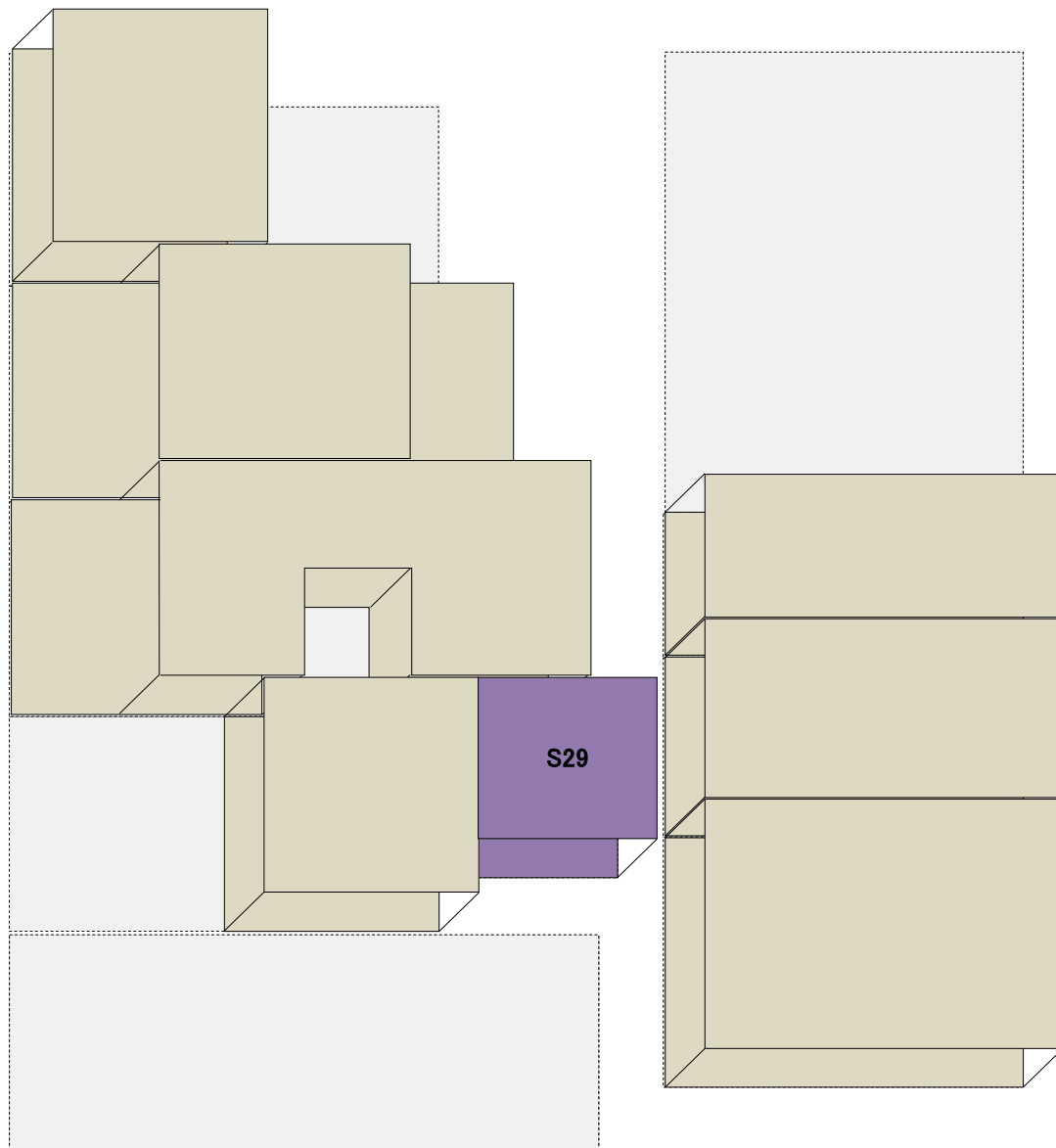
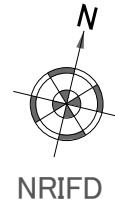
昭和11年

火元周辺の増築経過



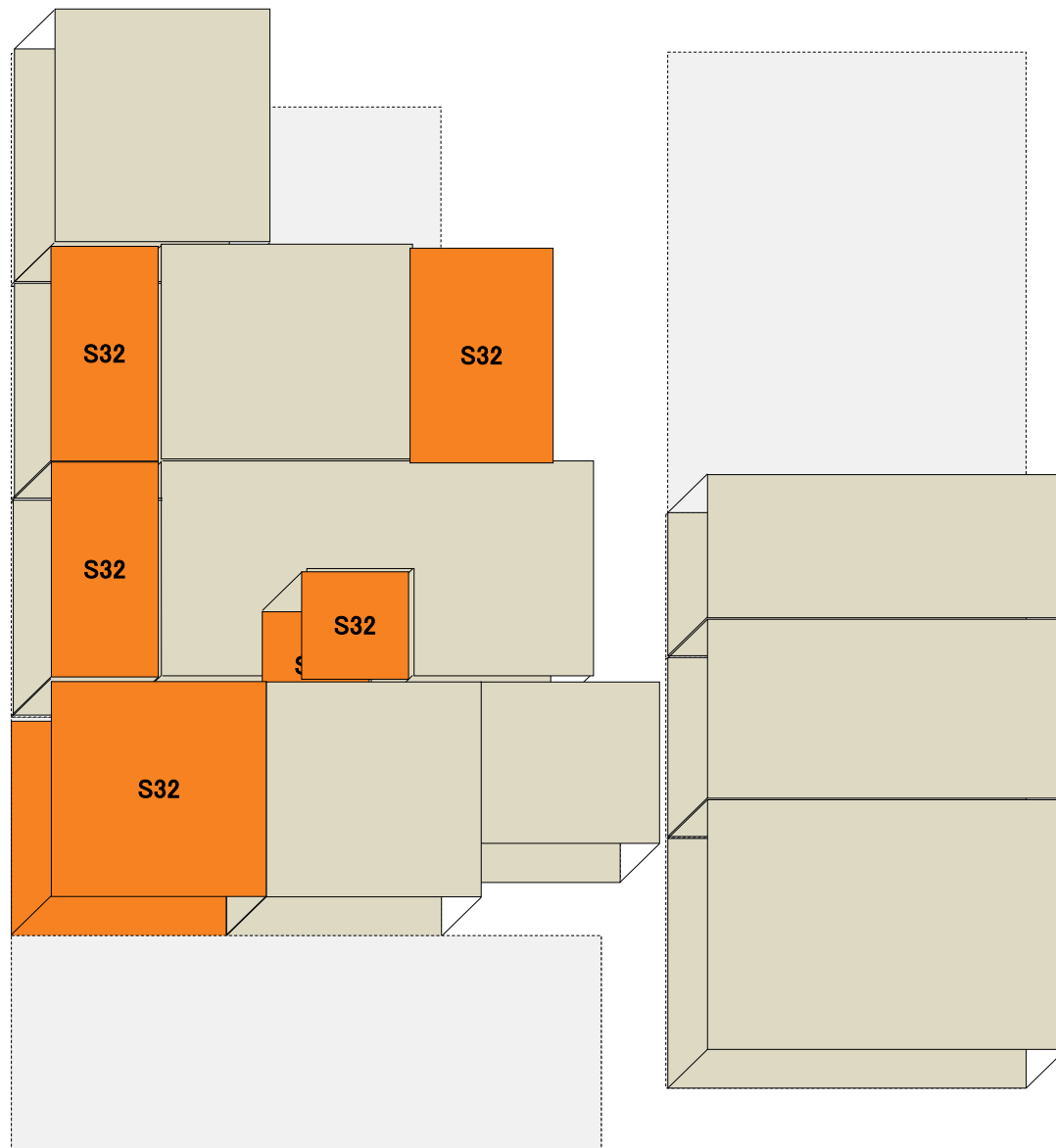
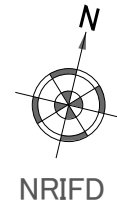
昭和29年

火元周辺の増築経過



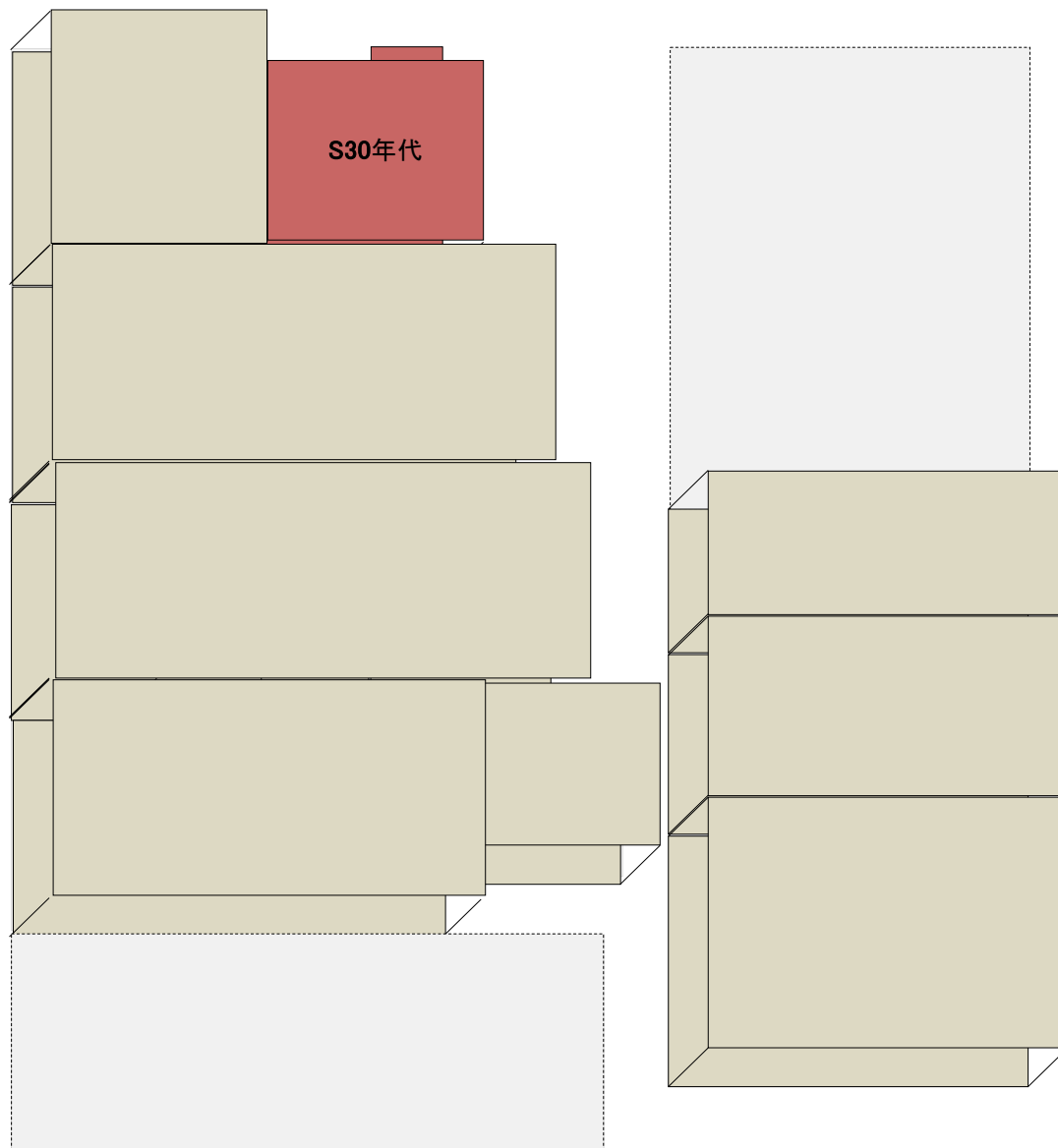
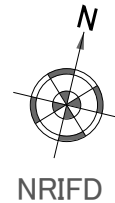
昭和32年

火元周辺の増築経過



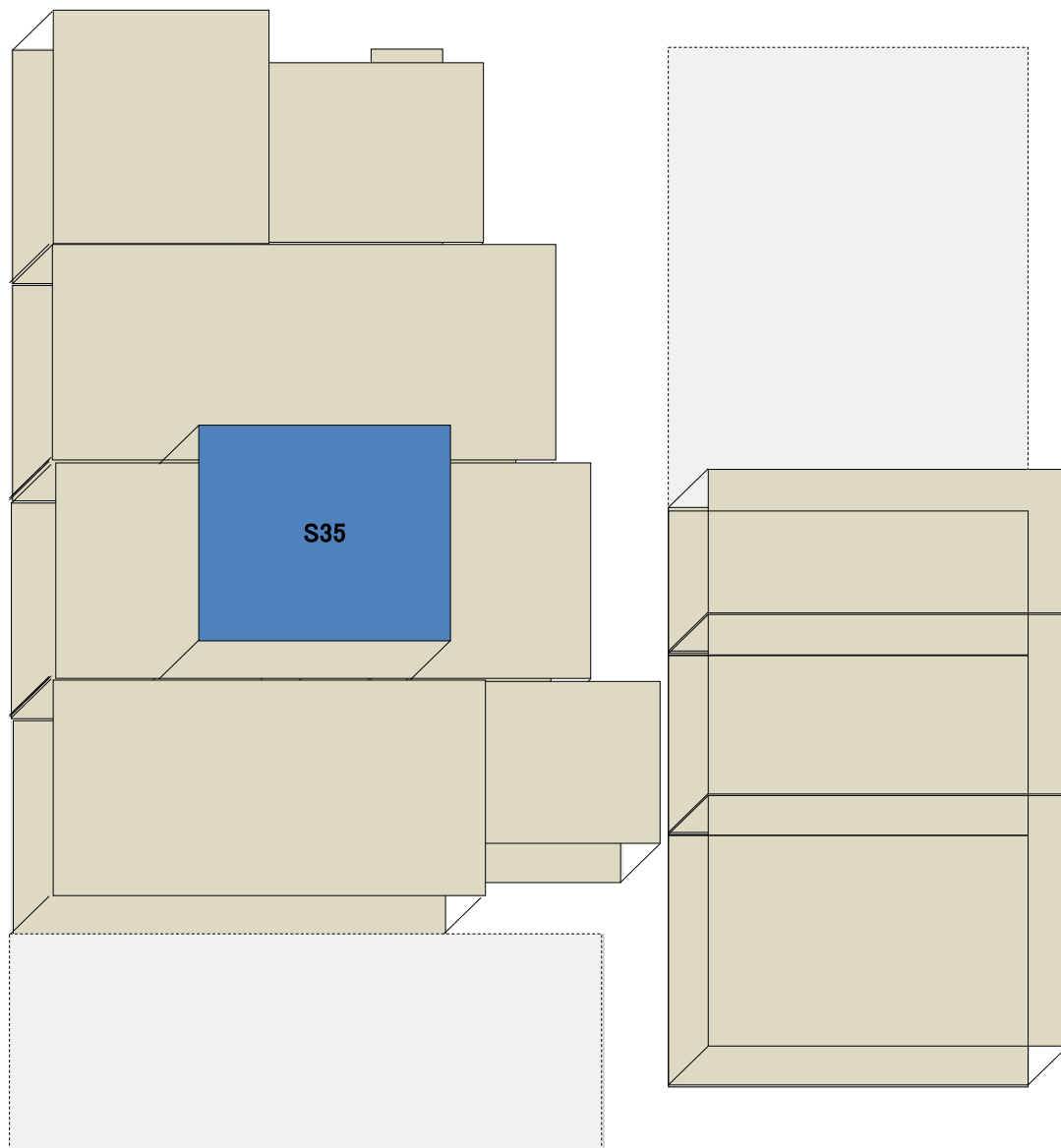
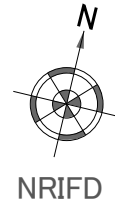
昭和30年代

火元周辺の増築経過



昭和35年

火元周辺の増築経過

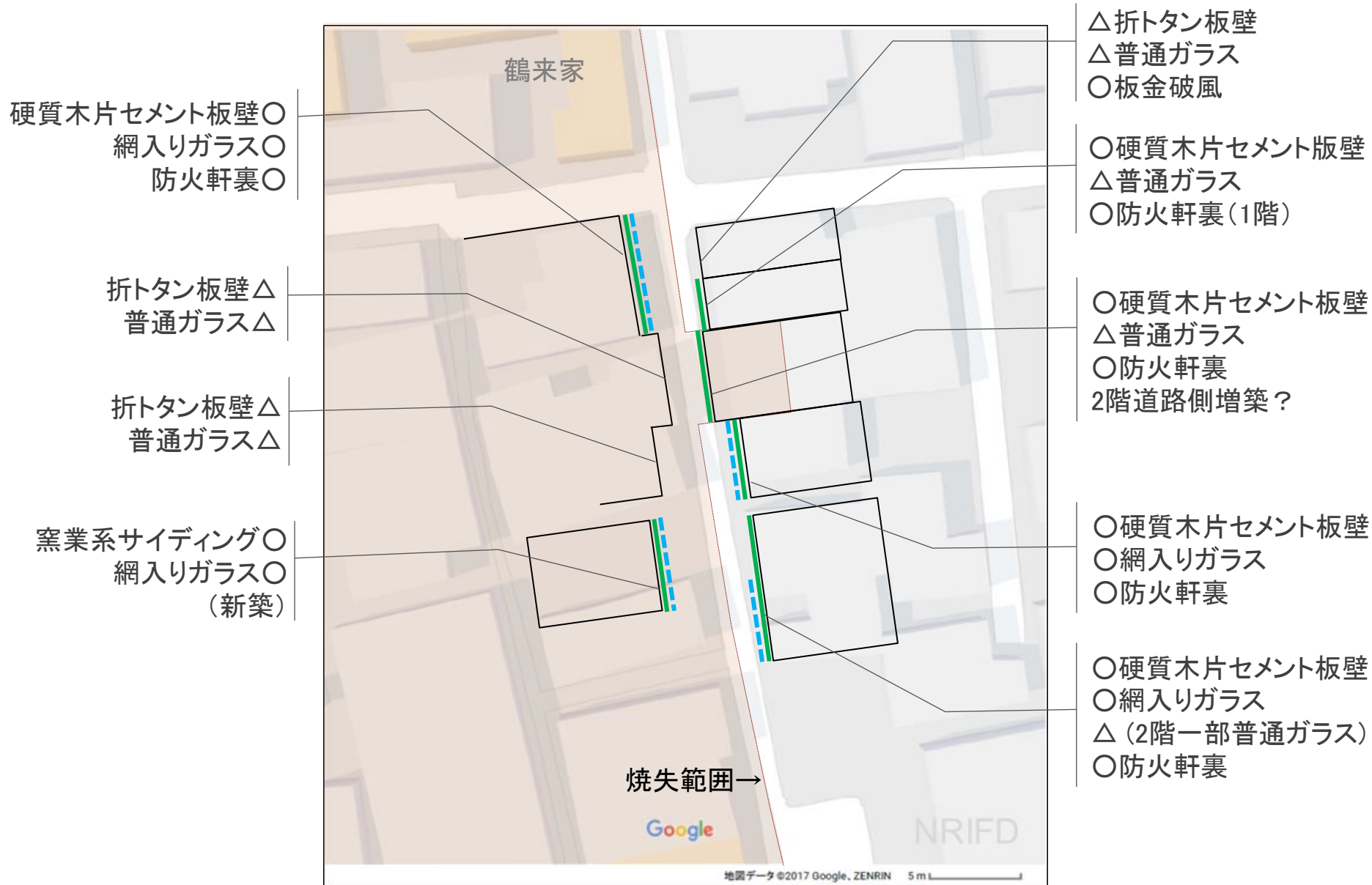


外壁の防火性能と被災の違い(別図②)



NRIFD

- : 硬質木片セメント板壁
 - - - : 網入りガラス窓



現地調査時に飛び火による延焼が視認された箇所



別図③

別図④



※現地調査時に屋根からの焼損が視認された建物を抽出(全焼した建物は飛び火により延焼したかどうか外観上判断しづらいため本資料では対象外)

別図⑤



棟瓦の周辺を
中心に焼損

飛び火が見
られた箇所

海側(別図③)の建物に関して

火災前



屋根構造 (Google street view)

火災後



街側から 糸魚川消防本部提供



海側から

* 瓦に隙間が見られるが、焼損や放水が影響している可能性あり

<採取した火の粉の例>

採取場所: 4階屋上

0.1104g 0.2322g



0.0159g 0.0188g



採取場所: 4階屋上

114 g



糸魚川消防本部提供